

第2回 防府市スポーツ推進計画策定委員会 議事録等

■開催日時・場所

令和2年8月24日（月）14時00分～15時00分

防府市役所1号館3階第1会議室

■次第

1 挨拶

2 議事

（1）第二次防府市スポーツ推進計画（案）第1～2章について

（2）第二次防府市スポーツ推進計画（案）第3～5章について

3 その他

■配布資料

防府市スポーツ推進計画策定委員会 第2回 次第

防府市スポーツ推進計画策定委員会 資料【計画（案）、概要、修正箇所一覧】

■出席者名簿

	所属団体・役職	氏名	出欠
学識経験者	徳山大学 経済学部 准教授	瀬尾賢一郎	出席
スポーツ 団体 関係者	防府市体育協会 副会長	城 宣生	出席
	防府市体育協会 常任理事	大和 孝義	出席
	防府市スポーツ推進委員連絡協議会 理事	相本 幸	出席
	防府市スポーツ少年団本部 指導者協議会会長	深光日出男	出席
	総合型スポーツクラブ防府 会長	坪郷 好夫	出席
学校教育 関係者	防府市小学校体育連盟 理事長	村岡 修平	出席
	防府市中学校体育連盟 理事長	阿部 直之	出席
その他	防府市老人クラブ連合会 副会長	長尾 隆治	出席
	防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
公募委員		井上 務	出席
事務局	地域交流部文化・スポーツ課 課長	栗原 努	
	地域交流部文化・スポーツ課 課長補佐	宇佐川 渉	
	地域交流部文化・スポーツ課 係長	田邊 美幸	
	地域交流部文化・スポーツ課 主事	津田 直輝	

■議事録

1 開会

(事務局より資料の確認と開会の宣言)

2 委員自己紹介

(第1回欠席委員による自己紹介)

3 委員長あいさつ

委員長	開会に先立って、本来であれば7月31日に開催される予定ではあったが、私が勤務する大学で、新型コロナウイルスに陽性患者が出たため、急遽延期のお願いをさせていただいた。本日はコロナ禍における会の開催ということで、長時間にわたる会議は極力避けたい。とは言っても、ぜひ積極的に忌憚のない御意見をいただきたい。
-----	--

(以後、委員長が議事進行)

4 議事

委員長	次第2(1)について、事務局から説明をお願いします。
-----	----------------------------

事務局	次第2(1)について説明
-----	--------------

委員長	第二次防府市スポーツ推進計画(案)第1～2章について説明があった。
-----	-----------------------------------

事務局から事前説明を受けているということで、ある程度内容について理解されていると思うが、今の説明について意見等あるか。

質問がないようなので、続いて次第2(2)について、事務局から説明をお願いします。

事務局	次第2(2)について説明
-----	--------------

委員長	第二次防府市スポーツ推進計画(案)第3～5章について説明があった。
-----	-----------------------------------

今の説明について意見等あるか。

A委員 第二次防府市スポーツ推進計画を策定する上で、現在起きている新型コロナウイルス感染症の問題を、この計画にどの程度反映させるべきか。もしくは収束したという前提で考えるべきなのか。おそらく長期にあたると思うので、本計画の策定についてどう考えるか。

委員長 別添資料にある修正箇所一覧の中で、修正前は「新型コロナウイルス終息後の新たな施設の在り方と管理運営方法の模索」と書いてあるが、修正後は「新型コロナウイルスに対応した新たな管理運営方法の構築」という内容に変更してある。現時点では、今後新たなウイルスが流行するか分からない状況で、ここでは新型コロナウイルスを想定した内容に修正されたかと解釈している。

事務局 委員長の言った通り、新型コロナウイルスに限らず、今後来るかもしれない新型コロナウイルスに対応した新たな施設の管理運営方法の構築を取組として挙げている。

A委員 運動不足が問題視される中で、高齢者はADL（日常生活動作）が落ちていく。スポーツ活動を制限するほど健康は遠のくわけで、本計画とウィズコロナの関係は、ある程度考えておくべき。

委員長 新型コロナウイルス感染症が感染拡大しているという状況の中で、外出自粛に伴い、運動不足に陥るという状況が発生しているが、今後また新たなウイルスが感染拡大する可能性もあることを考えると、施設の問題だけではなく、感染予防された上で、どのようにスポーツを普及させていくのか視野に入れておかなければいけない。

B委員 山口県にもプロバスケットボールチームが発足し、ソルトアリーナ防府も一つの拠点になると聞いている。17ページ「みる」スポーツの推進で、レノファ山口FC以外も考えてはどうか。

事務局 レノファ山口FCに限らない形で、反映させる。

委員長 17ページ「する」スポーツの推進で、「山口健幸アプリ」を活用するとあるが、どのようにして普及を図っていくのか。また、アプリとなる

と年齢層が限られてくる。ここに書かれている取組はインターネットやスマートフォンを活用できる方に限定されていると思うので、検討していただきたい。

事務局 | 検討する。

C委員 | 19ページ人材の育成について、放課後児童クラブや留守家庭児童学級はスポーツ少年団活動を体験する場として絶好の場である。学校にも協力いただいて、そういった連携ができないか。

委員長 | 学校と連携という部分で、現状どうなっているか。

D委員 | 放課後児童クラブには専門職員がおり、一任している状況。学校の職員と放課後児童クラブが関わることは無い。

委員長 | 周南市の場合、市役所が管理しているという状況で、防府市はどうか。

事務局 | 留守家庭児童学級は、一定の時間まで学級で児童を預かるというもので、防府市の子育て支援課が関わっている。放課後児童クラブは、放課後子ども教室と言われ、教育委員会の管轄で、週に1回または、月に1～2回程度の事業である。

委員長 | 例えばこういった学級やクラブに、大人が関わってスポーツの楽しさを伝えられる機会を設けるなど、スポーツを支える人材の育成も含めたような案を検討いただければと思う。

他にないか。

では、続いて次第3について、事務局から何かあるか。

事務局 | 次回委員会を10月下旬あたりで検討している。今日の会議録と併せて日程調整票を郵送するので、FAXもしくは電話で回答いただきたい。次回委員会で提示させていただく計画(案)が最終案となる。

委員長 | 何か意見等あるか。

E委員 | アンケート対象が18歳以上とあるが、アンケート結果には10代がない。20代に含まれているのか。

事務局	10代の方から回答が無かった。
E委員	数値目標について、根拠は何かあるか。
事務局	成人のスポーツ実施率は、国と県の数値目標に合わせている。 他は独自で考えているため、変更の可能性がある。
委員長	子どものスポーツ実施率（週1回）とあるが、実施率であれば、生涯スポーツの推進に入るべきで、人材の育成については、スポーツを指導する方や支える方、そういった方々に対する育成について明記するのはいかがか。
事務局	調整しながら検討する。
B委員	防府市に障害者のスポーツ指導員が何人かいるので、障害者だけの大会等に協力指導を依頼できるような、何らかの情報の窓口があると助かる。
C委員	スポーツ少年団の活動場所や連絡先など、ホームページに限らず、一覧を見ることが出来る機会を作ってほしい。
A委員	学校施設開放など、地域において活動しているクラブや団体を行政が主体となって情報を管理してほしい。
F委員	学校施設開放に関して、愛好会やサークルのような身内で活動している団体もいれば、公に募集している団体もいる。そのあたりの一括管理や、取捨選択は難しい。どちらにせよ、学校として使用しない日は、公にしていこうとすることで、より地域の方々にスポーツをする場を提供していきたい。
G委員	各種目団体がプロ選手を招いて教室を開催した場合、予算の都合上、その種目に関係している子どもしか呼ぶことは出来ない。しかし、プロ選手を見たい人はたくさんいるので、そういった広報をしていただけると、「みる」スポーツとして広がっていく。 多くの意見が出るなかで、どこまで計画に載せていくのか。次回委員会で最終案ということであれば、整理しておいた方が良いのでは。

委員長	意見が出たなかで、こういった取組が可能なのか検討し、事務局から事前に情報提供していただくというのはどうか。
G委員	願います。
C委員	この計画を策定するのが目的ではなく、5年後の令和7年に向けて策定しなければならない。
委員長	これは発行することが目的ではないため、実現可能なものを精査してほしい。また、内容に関しては各部局と連携してほしい。
B委員	計画の数値目標で、障害者のスポーツ実施率について教えてほしい。
事務局	スポーツ庁の目標としている数値が40%となっており、今回の対象者から得た数値を見ると、現時点で超えている。維持しつつ、実施率をより上げていくということで、50%を目標としている。
委員長	障害者アンケートは、どのような対象者か。
事務局	アンケート配布を障害福祉団体連合会に依頼した。150部のうち、回収率が5割程度であった。
委員長	次回アンケートを実施した際に、母数が増えると結果が大きく変わってくる可能性も考えられるため、安易な目標設定は避けたい。 他にないか。 では、次回委員会では最終案に向けて検討していく。
事務局	次回の委員会までに必要な資料や質問があれば、事務局まで連絡をいただきたい。

閉会